

2004.06.18：総務財政委員会

委員長

ただいまから総務財政委員会を開会いたします。

まず、席次についてであります。各委員の席は議会運営委員会の決定事項により、また各会派の代表者にお聞きした上で私の方で調整させていただきましたが、ただいま御着席いただいている席となりますので御了承願います。

審査に入ります前に皆様にお断りをいたします。当局におかれましては、省エネルギー対策として9月末まで夏期間中の軽装を奨励しておりますので、本委員会に出席の説明員についてもそのような取り扱いにしたいと思っておりますので、御了承願います。

なお、委員の皆様も上着を脱いでいただいで構いませんので、よろしく願います。

本委員会において審査を行います議案は5件であります。

まず、審査の方法についてお諮りいたします。

審査の順序は、お手元に配付の審査順序表のとおり順次質疑を行い、全議案に対する質疑終了後、決定に入ることにいたしたいと思っておりますが、第112号議案平成16年度仙台市一般会計補正予算（第1号）第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第2款総務費、これは東北文化学園大学に対する補助金の減額補正でございますが、審査するに当たり所管事務で報告予定の「東北文化学園大学に関わる問題について」が深く関連しますので、これを先に報告していただくことにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんでしょうか。

大泉鉄之助委員

ちょっと委員長に伺っておきたいんですけどね、今、冒頭でこの資料説明という形で審議に入りましたよね。これ、委員会ですから、審議のはずですよ。ところがまだ審議に入っていないんですよ。ですから、資料説明は説明として、聞くだけのことを聞いてしまって、その上できちんと提案されて付託を受けておりますこの予算案、いわゆるマイナス補正に対して、この審議をするということになるのか。本来ならば、絡めて審議という中できちんとやった方が、委員会としてはいいんじゃないかと思うんですね。

今ね、非常に重要なことを笠原委員が質問されたんですよ。ところが、あくまでも資料説明に対する質問になっちゃうんですね。ですから、そうじゃなしに、私はですね、これは委員長の委員会統裁の問題ですから、委員長がどうお考えになるかは委員長の裁きようでいいのでありますけれども、しかしながら委員会としては、ちょっと変則ではないのかなと。ですから、せつかくの委員会、審議の場ですから、審議すべてその他のところで報告があったことを聞いて

てるんじゃないしに、いきなり冒頭で報告があったもんですから、すぐそこに引き続いて審議に入って、審議と絡めて論議を尽くすということなのかと思っておりましたら、これはこれで一つ証人の問題が決着つきましたら、続けて資料説明に対する質問に入ってしまったって、中身が非常に重要な問題なんですから、その辺少し整理されて、そうするとそれぞれの皆さんもどんな形でこの論議に参画していくかということに、それぞれのお考えがあらうかと思うので、その辺を整理された方がいいんじゃないでしょうか。

委員長

ありがとうございます。

先ほど、東北文化学園大学にかかわる問題ということで、所管事務の説明でありましたけれども、関連しますので先に説明をさせていただきました。

本来であれば、今、大泉委員がおっしゃられましたように付託議案の審査に入らなければならないということで、今の資料に関する質問等は所管事務のところをお願いしたいと思いますけれども、笠原委員、よろしいでしょうか。

笠原哲委員

私の前に実は大槻委員が既に質問をしておりますので、私の質問はその流れの中でやっている部分があると、このように認識いたしております、委員長の最初の委員会運営は関連がありますので、事前にこれを説明させますというふうな話をして、それで大槻委員が質問をして、私が質問をしているわけです。

ですから、確かに通常の委員会では先に議案をやるというのが通常でございますが、この場合は、非常に中身がこの問題そのものでございますので、先にこれをやっておきたいという委員長の考え方で始めたんだと、このように私は認識いたしておりますから。

池田友信委員

これはですね、やはり説明をしておいて、議事の中での審議に付してくるという形に流れとしてはなるんですね。したがって、前段は資料に対してわからないところ、あるいは不明なところをただしていき、聞いていく。そこで一番、笠原委員の話は議事の内容に匹敵することですから、これは委員長として、議事裁きの中では資料の説明についてはその他になっちゃいますから、議事の中身は議事録に残ります。残るか残らないかは大変な発言の位置づけになるので、したがって、一たん資料に対する質問は区切って、そして議事の中で裁いていかないと、委員会の議事報告の中にこれが入らない形になってしまいますね。

そういうふうな形で整理していただきたいと思います。

委員長

ただいま東北文化学園大学にかかわる問題ということで所管事務を説明させていただきましたけれども、一緒にですね、第112号議案、平成16年度仙台市一般会計補正予算を一括でやろうと思ったんですが、審議の中で、今の説明、質疑いただきながら進めさせていただきたいというふうに思います。

委員長

一緒にやった方がいいのか、分けてやった方がいいのか、どちらにしたらよろしいでしょうか。

委員長

関連するので一緒に説明させていただきましたけれども……。

池田友信委員

もう付託議案の中身に入ってきますから、ここで1回整理をして、資料の説明は一応終了して、あとは付託議案の中で一括してやるという形に整理をして、位置づけをはっきりしないと、委員長が本会議で報告する議事録の部分で、位置づけがはっきりしないと思います。

委員長

それでは、継続で質問をいただきます。